



令和2年1月10日発行 中等新報第38号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

校内研究授業③ ～ 授業デザインの模索 ～

後期に実施された研究授業のうち、主体的な学習活動を取り入れた授業展開の試みを3つ紹介します。

6年1組「数学Ⅲβ」(11月18日実施)

数列「格子点」と「群数列」の問題について、代表生徒が自分の解答を板書しながら解説します。説明を聴いている生徒は、疑問点を解説者にぶつけます。生徒同士の白熱した意見交換が見られた授業でした。



漢文の読解を、『十八史略』、『史記』という異なる2つのテキストを使って実施しました。各グループで2作品を読み比べ、両者の共通点や相違点を見出した上で、現代に通じる生き方、考え方についてまとめます。

4年1組「国語総合」(12月5日実施)



5年1組「化学基礎」(12月24日実施)

酸化還元反応について、酸化剤、還元剤の量的関係について考察しました。「滴定」という操作を自分たちで組み立て、実際に実験してみるという活動に、多くの生徒が目を見張りながら取り組みました。



この1年、各教科担当者は、授業において生徒の主体的な活動をいかにデザインするか、試行錯誤を重ねてきました。重要なことは、常に活動の「ねらい」を明確にすることです。その活動をとおして、いったいどのような力が身に付くのか。そこを出発点とした授業研究を今後も進めていきたいと考えています。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773

HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>